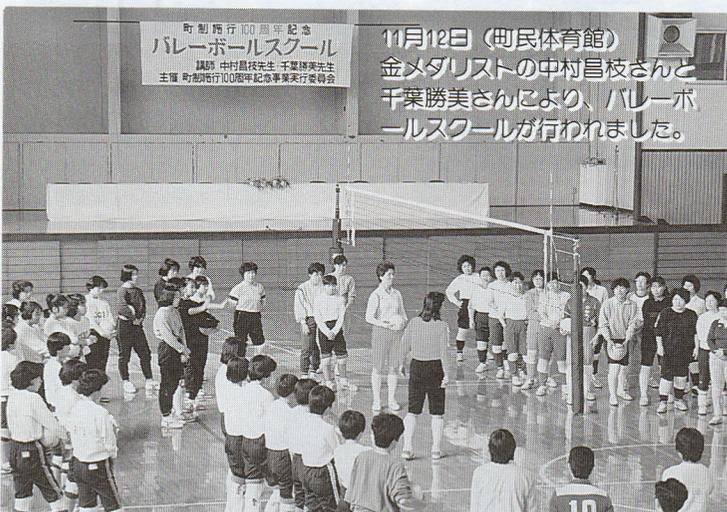


やっぱり違うね プロの技

町制施行 100周年記念スポーツ・レクリエーションまつりが、11月12日はテニスとバレーボールスクール、19日は野球教室の順により総合運動場で開催されました。

快晴に恵まれた会場には、有名な一流プロに会えるうえ、直接指導を受けられるとあって、小・中学生や家庭婦人などたくさんの方が参加し、テニスの神和住 純先生、バレーボールの中村昌枝・千葉勝美先生、そして野球では往年の名選手、柴田 勲・平松政次先生らの模範プレイを見たり、ユーモアを交えた「基本技術」の説明を受けるなど、実り多い1日となりました。

スポーツ・レクリエーションまつり



町制施行100周年記念
バレーボールスクール
講師 中村昌枝先生 千葉勝美先生
主催 町制施行100周年記念事業実行委員会
11月12日(町民体育館)
金メダリストの中村昌枝さんと
千葉勝美さんにより、バレーボ
ールスクールが行われました。

11月19日野球教室(総合運動場)

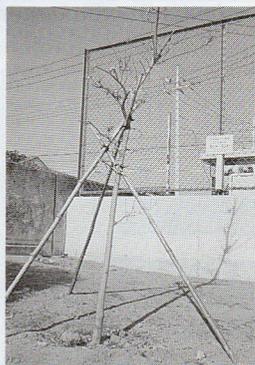


元巨人選手の柴田勲氏はバッティングを中心に一人ひとりにプロのバッティングを伝授しました。



元大洋選手の平松政次氏は専門のピッチングをていねいに指導されました。

町制100周年記念行事 カメラスケッチ



町内の小・中学校に町の木「えのき」が記念植樹されました。

小・中学校の 記念植樹

農業祭

11月18、19日(農協本所)



見事ないちごやごぼうなどに立止って見入る

総合産業まつり

11月5日(総合運動場)



米軍在大会

生活上の悩みごとは “民生委員”へ

〈町内で58名の民生委員が活躍されています〉

町の福祉活動を行う民生委員五十八名が、厚生大臣から十一月一日付で、新たに委嘱されました。任期は三年です。
民生委員は、児童委員と福祉委員も兼ね、主な仕事として、担当地区内のみなさんが抱えている生活上の苦しみや悩みごとについて、親身になって相談・

助言を行うことです。そして、それらの事項について、役場や専門福祉機関と連絡を取り、社会福祉に関する情報の提供をおして、だれもが明るい社会生活が送れるように活動しています。

主な活動内容

- ①生活保護等の相談
収入が少なく、預貯金などもないため、生活に困っている人
 - ②老人についての相談
老人ホームへの入所や、ねたきり・独り暮らし・痴呆性老人に対する援護や各種相談
 - ③身体障害者、精神薄弱者についての相談
手帳の交付手続き、車イス、補聴器など補装具についての相談
 - ④母子家庭などについての相談
手当、医療に関すること
 - ⑤児童に関する相談
家庭内の悩み、しつけ、教育非行などについての相談
- 以上のような活動を民生委員は行っています。生活上の悩みなどありましたら、担当地区の委員へお気軽にご相談ください。

民生委員名簿

(◎印は新民生委員)

担当地域	氏名	電話番号	担当地域	氏名	電話番号
下表町	藤田藤三郎	八一〇八九八	幸町一丁目	兵頭圭子	八六一二五〇
中表町	早乙女ケン	八一七七三三	幸町三・四丁目	遠藤 晶子	八六一〇二五
下横町・今井	◎鈴木 修一	八一〇八八六	幸町丁目	松本 景子	八六一〇五九
上表町	早乙女俊子	八一〇七六五	おもちゃのまろ 一〜五丁目	前田 信子	八六一一九一八
東下台・下台団地	◎丸山 サキ	八一〇五八一	原坪・釜ヶ沢	◎田辺 豊吉	八二四五五四
駅東町団地	◎住川 卓三	八一七七八二	鹿島	佐藤 弘	八二三三三四
城東町	塩澤 ナミ	八一〇六六五	下町・下馬木	◎大場喜代一	八二四五五〇
舟町・栄町	早川 悦子	八一〇二二〇	上町	稲葉 サキ	八二一四九〇
仲通町	船越多喜知	八一〇二二七	本郷	高木 正年	八二四八八八
上通町	◎渡辺喜代子	八一〇二四九	松原	青木 ノブ	八一〇三三五
星の宮・旭町	戸崎 豊治	八一六二三五	台宿・中央・下坪	木野内 肇	八二三四〇七
三好町・車塚	熊倉 明	八一五七四三	西部・北原	落合 トク	八一九一九八
万町	篠原多美子	八一〇七二二	鯉沼・東原	黒子 昭平	八一五六三七
上新町	◎青木金十郎	八一二七一九	本坪	安納 康乃	八一〇八四七
西高野・下馬木	◎雨坂 清	八一〇八四四	北小林・獨協職員寮	鈴木 貴夫	八六一三九一七
城内	島田 計一	八一〇五五五	安塚一	◎高橋 良子	八六一〇一〇八
城南	人見 イハ	八一二二四〇	安塚二	中村 朋子	八六一〇五五九
馬場・原宿	橋本 福一	八一三〇〇八	安塚一安塚中央の一	高橋 ミサ	八六一〇二〇〇
前坪・台坪	毛塚 昭吾	八一二〇八〇	安塚一	山中 一男	八六一四〇九六
至玉町(南部)	日向野 明	八一二六一四	安塚二	◎荒川ノリ子	八六一二六九四
至玉町(北部)	中山 武夫	八一二一八五	安塚南部	◎河野辺泰子	八六一二六八四
至玉町(中央部)	小平 吉作	八一二二七二	上長田	中川 英一	八六一〇三二一
六美町北部(◎はり 周辺：ひばりが丘)	橋本 茂	八一〇四七二	中泉	◎山野 壮雄	八六一四一〇〇
六美町北部(中 央部)いすみ	小林 満子	八一五一六一	助谷・助谷原	◎荒川 和子	八六一三八七七
六美町北部(東部)	大島 克美	八一四八八六	助谷一(南部)	二ノ宮一義	八六一三七三八
六美町南部第一	福田 キヨ	八一三〇一〇	助谷一(東部)	◎渡辺 親守	八一五〇五七
六美町南部第二	岩田 幸子	八一五三三六	助谷一(内地)	◎野口百合子	八一五八七九
(沼谷町地境を除く)	◎黒子 皓三	八六一一五六三	助谷一(西坪・明城)	大栗 トミ	八二一五九三六
緑町三・四丁目	青柳 とぎ	八六一〇〇八九	若草	佐藤セイ子	八六一〇三三四
緑町一・二丁目			国谷外道の二		

の公表 の執行状況

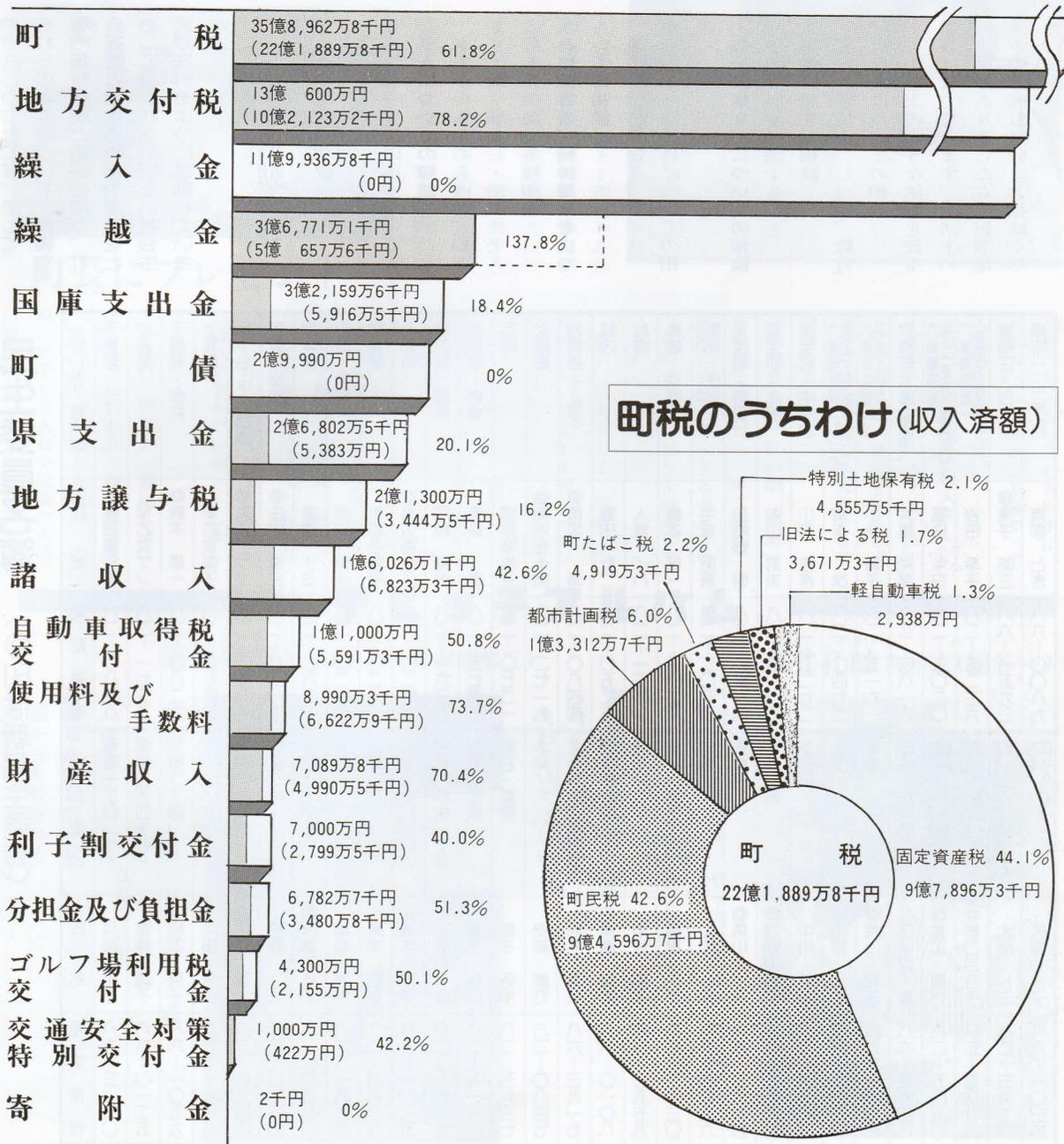
平成元年度上半期

(平成元年 9月30日現在)

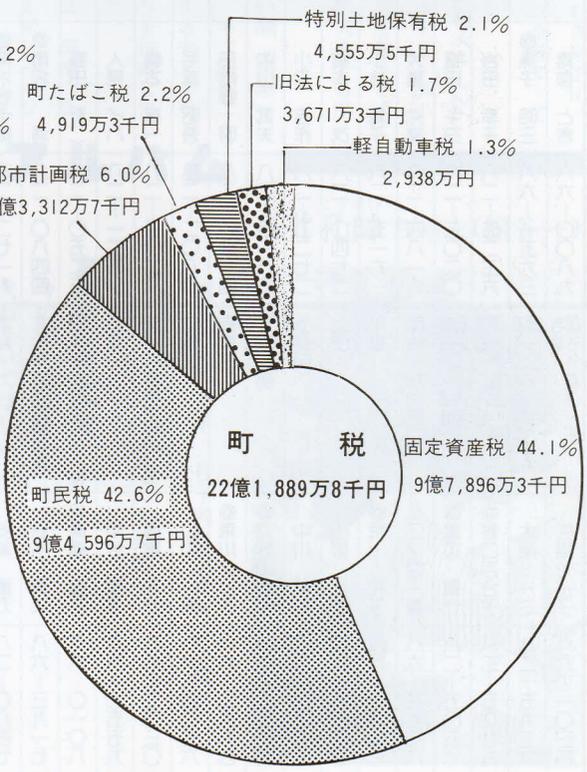
町では、町民の皆さんに財政の実態を知っていただくため、毎年2回「壬生町の財政」を公表しています。

今回は、元年度上半期(元年4月1日から9月30日)の財政状況をお知らせします。

歳入	予算現額 81億8,711万9千円	収入率 51.6%
	収入済額 (42億2,299万9千円)	



町税のうちわけ(収入済額)





順調に工事が進む
し尿処理場

財政状況 一般会計予算

予算現額 81億8,711万9千円 支出済額 (21億1,832万9千円)	執行率 25.9%	<h2>歳出</h2>
--	-----------	-------------

27億5,841万3千円 (2億6,171万5千円)	9.5%	土木費
11億8,430万8千円 (3億9,012万8千円)	32.9%	総務費
10億4,772万2千円 (3億5,536万9千円)	33.9%	教育費
10億2,268万9千円 (2億4,339万1千円)	23.8%	衛生費
6億6,284万4千円 (3億265万8千円)	45.7%	公債費
5億4,007万5千円 (2億3,173万1千円)	42.9%	民生費
3億4,116万2千円 (1億5,256万8千円)	44.7%	消防費
3億1,078万4千円 (6,091万3千円)	19.6%	農林水産業費
1億3,699万9千円 (4,438万1千円)	32.4%	商工費
1億3,696万円 (6,596万5千円)	48.2%	議会費
2,215万7千円 (951万円)	42.9%	労働費
2,000万円 (0円)	0%	予備費
300万3千円 (0円)	0%	災害復旧費
3千円 (0円)	0%	諸支出金

特別会計予算の 執行状況

(単位：千円)

区分 会計名	予算現額	収入済額 (収入率)	支出済額 (執行率)
国民健康保険	1,536,302	792,023 (51.6%)	557,884 (36.3%)
公共下水道	1,184,057	225,184 (19.0%)	263,341 (22.2%)
老人保健	1,265,524	500,971 (39.6%)	501,854 (39.7%)
奨学資金	1,446	827 (57.2%)	1,360 (94.1%)
国谷区画整理	28,630	20,331 (71.0%)	10,854 (37.9%)
水道	収益的収支 415,263	事業収益 148,158 (35.7%)	事業費用 133,812 (32.2%)
	資本的 収入 52,430 支出 157,944	収入 36,905 (70.4%)	※支出 61,089 (38.7%)

※収支の
不足額は
一般会計
から運用

※資本的収支の収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度・当年度損益勘定留保資金で補てんしました。

保護者の家庭における学習状況調査

生涯学習……母親はサークルなどの団体学習 ……父親は仕事中心の個人学習

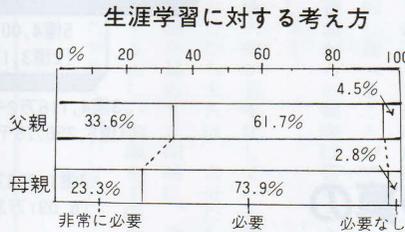
町PTA連合会(落合功会長)の調査部では、町内の小・中・高校の父母の家庭における学習状況を調査し、今後の教育活動の方向を考える資料にしようと「保護者の家庭における学習状況調査」を実施しました。

調査の結果、大部分の父母は教養や趣味としての生涯学習を必要と考えており、父親は個人学習、母親はサークルなどの団体学習を希望しています。また、日常生活の知識や情報を、新聞やテレビなどのマス・メディアで得ている反面、趣味や教養のために読書をしてはいるが、父親は仕事関係の専門書や参考書、母親は生活や子供教育のための読書という傾向にあることがわかりました。

この調査は、七月十三日、町内八小学校、二中学校と壬生高(町内在住)のPTA会員の中心から、等間隔抽出法により選び出した計六〇〇家庭の父母を対象に、調査票を児童生徒を通して配布、回収という方法で行い、記入された調査票は、各学校で集計票に記入して、八月一日までに町P連調査部に提出されたものをまとめたものです。

生涯学習

問1 「生涯にわたって学習を続ける必要がある」という考えについてどう思いますか。



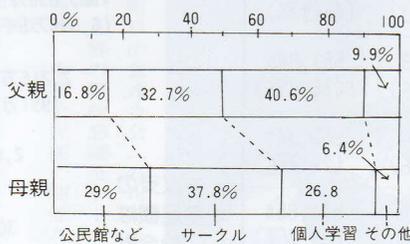
問2 あなたは、主にどんな目的で学習したいと思いますか。

生涯学習の必要性について、「必要である」が最も多く、六七・九%。「非常に必要」の二八・四%を合わせて、九六・三%の大部分の父母が必要と感じています。

父母別に見ると、父親の方が母親より「非常に必要」と考えている割合が一〇・三%と多い。

を高めるため」が最も多く五四・九%。父母とも家族構成及び年齢的な関係から生涯学習の内容や目的に変化がみられる。次に多いのは「レクリエーションや趣味を楽しむため」が、二七・六%となっている。

学習方法



問3 どのような方法で学習したいと思えますか。

三五・二%が「同好者によるサークルで話し合ったり、団体活動に参加」を、次に三三・六%が「個人で学習」することを希望している。

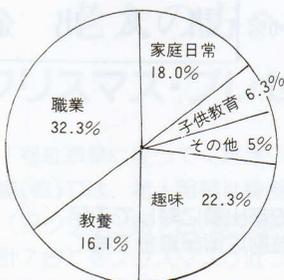
父母別にみると、父親は自主的な個人学習を、母親は企画されたものや同好者という外部での組織体による学習方法を望んでいることがわかる。

知識・情報の取得

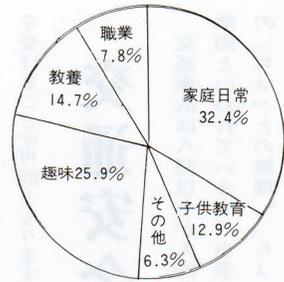
問4 毎日の生活に必要な知識や情報を何から得ていますか。

生活の情報収集方法については、「新聞」が最も多く四三・九%。次にテレビが三七・三%。テレビやラジオは速報性があり、メディアの発達した現代らしさを単的に表している。また、新聞が知識や情報を細部にわたって正確に得ることができるとして、多くの人から活用されていることがわかる。

問5 本を読む目的は何ですか。



本を読む目的



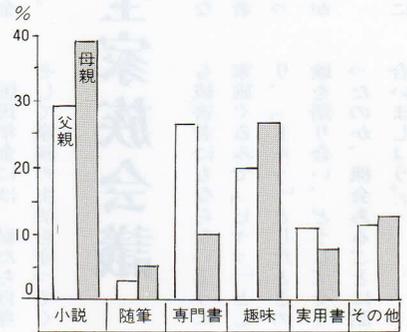
読書の目的については、「家庭、日常生活に必要な知識を得るため」が二五・三%と最も多く、次に「趣味を楽しむため」二四・一%の順になっている。

父母別にみると、「家庭、日常生活に必要な知識を得るため」が、母親は三二・四%で父親の十八%を上回っているのに対し、「職業に必要な知識を得るため」では、父親が三二・三%と高い。父親は仕事や趣味、教養のために読書をし、母親は生活や趣味のほか、子供の教育に関したのもよく読まれることがわかる。

問6

過去一年間に読んだ本を分野別に冊数を記入ください。(雑誌を除く)

(雑誌を除く)



「小説」が三二・七%と最も高い比率を示し、特に母親は小学校低学年で三八・四%、中学校四三・七%と目だっている。

父親は専門書が二六・三%(二位)と高い比率を示している。読書冊数では、一十冊が多く、父親四四・九%、母親四九・九%となっている。

問7

その本は、主にどこで入手しましたか。

書店からの購入が、父親六一・六%、母親五一・一%で全体で五七・二%と高比率となっている。

また、小学校の母親が図書館を多く利用するのは、子供の教育と関係が深いと考えられる。

問8

毎月購読している雑誌あつたら雑誌名を書いて下さい。

全体 (小低・小高・中・高) 複数の回答 (冊数)

父親		母親	
プレジデント	11(経済)	P H P	24(哲学)
P H P	9(哲学)	家の光	13(総合)
家の光	8(総合)	暮らしの手帳	9(家政)
文芸春秋	7()	オレンジページ	7(家政)
現代農業	6(農業)	婦人百科	7(婦人)
くらしと農業	6()	家庭画報	7()
趣味の園芸	6()	エッセ	6()

問9

本を読みたいが、なかなか読めない理由は…

雑誌の内容をみると、職業や地域に特徴が現われ、父親は技術工学や経済、農業関係を、母親は婦人、家政関係と哲学宗教の雑誌を購読している。

読みたいと思っても読めなかった理由としては、「読む時間がなかつた」が父親六二%、母親六七・一%もあり、現代社会の多忙さがうかがわれる。

読みたいと思っても読めなかった理由としては、「読む時間がなかつた」が父親六二%、母親六七・一%もあり、現代社会の多忙さがうかがわれる。

読書感想文コンクールで

五味田君 最優秀賞

財団法人総合初等教育研究所主催(文部省後援)の第十三回「てのひら文庫賞」読書感想文全国コンクール(応募総数六万六千二百点)において、本町の五味田敬君(壬生小一年)が、てのひら文庫指定図書部門で最

優秀賞を、同優秀賞に鈴木香織さん(壬生小一年)、同優良賞に大橋洋美さん(壬生小一年)が、それぞれ受賞されました。また、学校賞として壬生小学校が佳作校として表彰されました。

計算になります。

読書

多感な少年時代に、じつくりと読書を楽しむゆとりがないのは寂しいことですね。

ところで、日本では毎年どのくらいの本や雑誌が発行されているのでしょうか。(社)出版科学研究所の推定では、昭和六十三年中の発行部数は、書籍約十四億四千六百五十六万部、雑誌約四十二億四千四百四万部だそうです。

「活字離れ時代」といわれて久しくなりますが、出版部数は前年に比べて書籍二・七%増、雑誌四・五%増となっています。そういえば最近では文庫本がブームだそうで、電車の中や、ファースト・フードの店で食事をしながら、文庫本を読んでいる若者の姿をよく見かけるようになりました。



あきらめずに 任意加入を

①60歳まで国民年金に加入しても年金を受けるに必要な資格期間に少し足りない。

②資格期間は満たしているが、国民年金保険料の未納期間やカラ期間があり、満額の年金を受けられない。

—このような悩みをお持ちの方、あきらめてはいけません。60歳以上の人でも65歳になるまでの間なら、希望により国民年金に加入できるからです。これに加入することで、①、②の人はそれぞれ、年金を受けられるようになったり、満額の年金を受けることが可能となります。

しかし、任意加入できるのは長くても5年間。残念ながら、これを超えた期間についてはあきらめていただくほかありません。ですから、くれぐれも「国民年金保険料の納め忘れ」のないよう、日頃から気をつけましょう。

こんなに大切！ 国民年金保険料

- 一、お年寄りを守るために……国民年金制度では、若い世代がお年寄りの世代を支えます。現在のお年寄りの年金は、私たちが納めた保険料が財源です。
- 二、自分と家族を守るため……国民年金には、私たち自身、そして家族の生活を守ってくれ

問合せ先 役場住民課国民年金係
☎八二一—二三四内線一一九

る三つの基礎年金があります。しかし、これは、私たちが普段からキチンと保険料を納めていなければ、保険料を納めていなければ、これらの年金を受けることはできません。

- ①65歳(60歳)になったとき 老齡基礎年金
- ②病気やケガで障害が残ったとき 障害基礎年金
- ③一家の働き手を亡くしたとき 遺族基礎年金

三、住みよい環境をつくるために……
納められた保険料の一部は、私たちの住宅・療養施設・厚生福祉施設などの建設に、融資資金として還元されます。保険料を納めることは、住みよい環境づくりにも役立っています。

家族のどれもが交通ルールやマナーを身につけ、周囲の状況を的確につかんで、お互いを思いやる心で行動できるようにしたいものです。

交通安全家族会議

交通事故は八割以上が人的な原因といわれています。当事者の「ちよつとの無理」「ちよつとの油断」が死亡事故につながっています。

そこで、交通事故の加害者に
も被害者にもならないように、家族ぐるみで「ヒヤッ」としたとき、「ドキッ」としたときの体験を語り合い、どうしてそうなったのか、機会あるごとに話し合います。

身近な税の いろいろ ⑭



“脱税”は 社会公共の敵

りや不正がある場合には、正しい申告に改めてもらっています。また、特に悪質で大口な納税者に対しては、不足している税金を納めさせるだけでなく、刑事罰をも科すことを目的とした査察調査を行っています。査察調査とは、悪質で大口な脱税をしている疑いのある者に、犯罪捜査に準じた方法で行われる特別な調査です。

所得税や法人税などは、納税者が自ら税法に従って自分の所得と税額とを正しく計算して申告し、納税するという「申告納税制度」を採用しています。

脱税者がいかに巧妙な脱税を企てても、調査に当たるとなると、調査官のち密で系統だった調査技法により、必ずその脱税は発見されます。これにより、刑事事件として検察官に告発され、裁判で有罪になると、本税や重加算税、延滞税を納めるばかりでなく、懲役や罰金の刑罰が科されます。

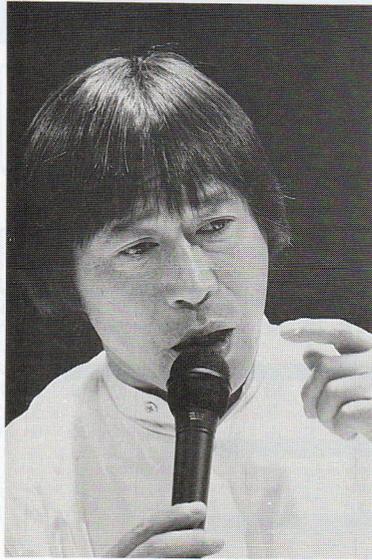
大部分の納税者は適正な申告と納税をしていますが、中には申告しなければいけないのに申告しなかったり、誤った申告をしたり、あるいは故意に過少な申告をする納税者が見受けられます。

「脱税は犯罪です」。国民一人ひとりが所得に応じて負担しなければならぬ税金を、不当に免れることは、正しい申告と納税を行っている善良な納税者を裏切ることになります。

そのため、国税局や税務署では的確な調査を行い、申告に誤

脱税事件の判決では、執行猶子の付かない実刑判決が増えています。

町制施行100周年記念事業



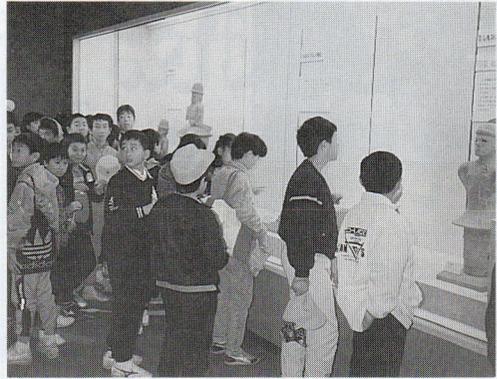
武田鉄矢 コンサート

＝第七景 朱夏を過ぎて白秋へ＝

◇日 時 1月21日(日) 開場 午後6時から
開演 午後6時30分

◇会 場 壬生中央公民館大ホール

◇問合せ先 壬生中央公民館 ☎82-0108(代)



古代ロマンに触れて

三三〇〇人が来館

町歴史民俗資料館では、十月八日から十一月十九日までの三十五日間にわたり、第三回企画展として「しもつけのはにわたる人たち」を催しましたが、過去二回行った企画展を大幅に上回る三五〇〇人もの入場者を記録し、好評のうちに終了しました。同企画展は、県内で出土した

(写真) 子供たちもたくさん来館しました

人物はにわを中心には六十五点を展示しました。中でも昭和五年に安塚地区で出土し、現在、東京国立博物館所蔵の「盛装した男」が、約六十年ぶりに還暦里帰りしたこともあって、オープン時からたくさんの方が来館されました。

資料館は、常設展をはじめ二年、企画展と特別展を企画し豊かな歴史にはぐくまれた壬生の文化財を、町民の皆さまに紹介しています。今後とも、資料館へ温かなご支援・ご協力をお願いいたします。

図書館だより



BMゆうがお・みぶ

好調なすべり出し

先月15日に始まったBMゆうがお・みぶの巡回も、はや二巡回。巡回日程のPR不足が心配されましたが、すでに二千冊を超す利用があり、ホツとしていくところですよ。

そこで今回は、あらためて、BMゆうがお・みぶ”利用のこあんない、をしてみましよう。

- ◎本を借りるには………
- 貸出券が必要です。
- 本館と各巡回箇所のいずれにも使える共通の券です。
- まだお持ちでない方も、当日申込めばすぐ借りられます。
- ◎借りていられる期間は………
- 次の巡回までです。
- 貸出の手続きの際、返却日付を押しししおりをお渡ししています。
- 三月までの巡回日程表は、

移動図書館当日、および本館でお配りしています。

◎借りられる冊数は………

- 原則として一人5冊まで。
- 本館で5冊借りていたまま移動図書館でも5冊まで借りることができません。

◎どんな本があるの………

- 小学校を巡回場所にしていきますが、こどもから大人向の本まであります。
- 外側の棚には、小説や手芸料理といった実用書を中心に大人向の本を積んでいます。
- 内側の棚には、よみものや絵本を中心としたこども向の本を、合わせて二千五百冊ほど積んでいます。

◎読みたい本がない時は………

- リクエストしてください。
- リクエストは電話でも受付けますが、どこの巡回場所を利用されているのか、はつきりとお伝えください。
- 巡回当日の午前中に申込みれば、書架にある本なら、その日のうちに手にすることができま。

※みなさん誘いあわせのうえお近くの移動図書館へ、どうぞご利用ください。

食事と健康 ⑧



「うす味」のすすめ

日本人は、一般的に塩分のと
りすぎだといわれています。中
でも栃木県は、全国平均よりも

多く、脳卒中の死亡率ワースト
1という汚名までさせられてい
ます。脳卒中をはじめ、いろい
ろな成人病を予防するためには、
子供のころからうす味に慣れて
いることが、一つのカギではな
いでしょうか。

うす味は、お母さん方の作る
料理が基礎になります。毎日の
食事が、塩分も糖分も控えた「う
す味料理」であること。つまり、
外食でなく、加工食品でもない、
自然の食品の持ち味を生かした
料理を工夫すること。この心が
けをしていくだけでも、成人病
は必ず減るはずですよ。

自分の健康は、自分で守って
いかなければなりません。毎日
の食事が長い年月の間に、わた
したちの健康に大きく関与して
います。子供のころから、食物
についての正しい知識を身につ
けておけば、良い食品を上手に
選択し食べることができ、一生、
栄養面からの健康は管理できる
でしょう。

成人病が若年化している現在
わたしたち大人は、自分たちの
食生活を見直すと同時に、食物
に対する正しい知識を子供たち
に持たせるよう努力しましょう。

正確な現状把握は 的確な将来予測

第二十七回栃木県 統計大会開く

統計大会開く

二十一世紀に向けて、高齢化
社会への移行、高度情報化、国
際化の進展という時代に対処し
ていくため、正確な現状把握と
的確な将来予測が不可欠であり、
これらの指標を提供する統計の
役割を認識しようと、十一月八

日栃木会館において、第二十七
回栃木県統計大会が、県及び県
統計協会主催で行われました。
大会の席上、昭和六十三年住
宅統計調査(市町村の部)で壬生
町が、また、統計グラフ栃木県コ
ンクール一般の部で、河野辺敏
雄さん(本丸二丁目)が「ガン告
知揺れ動く心理」で入選四席に
入り、知事表彰されました。そ
のほか、統計調査員として永年
にわたり尽力された桑川正光さ
ん(安塚)には、栃木県統計協会
名誉会長より表彰されました。

自治会の要望相次ぐ

町政懇談会開催

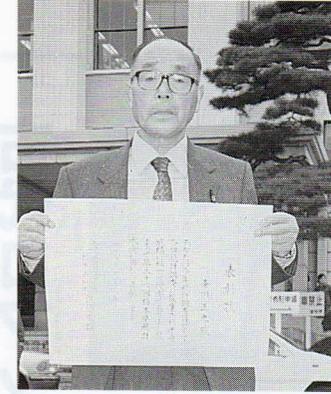


町内各自治会の抱える行政問
題や要望などを直接町にお願
いし解決していただくことと、毎年
行われています。

会場には、自治会長約五十人
が参加し、町からは榎井町長以
下二十名の町執行部が出席しま
した。

懇談会は、自治会側から事前
に文書で提出していただいた意
見・要望について、町執行部が
回答する形式で行われ、各自治
会長から活発な意見・要望が相
次いで述べられました。

町自治会連合会(石川昭三会
長)主催の町政懇談会が十一月
十四日、中央公民館で開催され
ました。



老人の方へ

クリスマス・プレゼント

「福祉事業に使ってください」と呉羽
合織(株)では、老人用福祉機器40万円相
当(マッサージ器7台、磁気敷布7枚、血
圧計7台)をクリスマスが近づいた12月
7日町長室を訪れ、町へ寄付されました。



おはやしの輪に心もひとつ

また、お昼には婦人たちが腕をふるったパーベキューで舌鼓を打ち、さらに親睦を深めました。

同地区は、本年五月に県から「むらづくりモデル集落」の指定を受けており、今後の活動が期待されます。

壬生下馬木の下馬木むらづくり推進会議（葭葉康一会長）では、十一月十九日、下馬木公民館で大杉ばやしの練習会とパーベキューの集いを開催しました。

これは、昔から伝わる伝統芸能の大杉ばやしを三十年ぶりに復活させて傳承するとともに、練習を通じて人づくり、コミュニケーションづくりを推進し、明るいむらづくりに役立てていこうというもので、秋晴れの下、七十余名の参加者がおはやし連のベテランを講師に、熱心に太鼓の練習に取り組みました。

伝統芸能で 明るいむらづくり

「市民のひろば」はみんなで作るページです。身近なニュースやできごとを紹介いたしますので、掲載を希望される方はお気軽に市民室（☎二三四内線二二五）までお問い合わせください。

市民のひろば

壬生クラブ

熟年野球を制す



十月二十九日から三日間にわたり開催された、第二回栃木県熟年軟式野球大会（五十歳以上、下野新聞社主催）において、本町から出場した壬生クラブが、初出場で初優勝を飾りました。

準決勝戦で前年度優勝した氏家町クラブを2対0で敗った壬

「明日に向かって伸びゆく栃木」を基本テーマに、ふるさとマロニエフェア89が、十月二十七日から二十九日までの三日間にわたり、県立宇都宮産業展示館（マロニエプラザ）で開幕。県内各地の特産品や伝統工芸品、農産品、そして、郷土芸能や工芸の

県内特産品が いっぱい!



かんぴょう音頭・踊り保存会のみなさん

実演、展示品販売などが行われ、県内観光物産の一大イベントとして、普及・拡大とイメージアップを図りました。

藤井むらづくり推進協議会とかんぴょう音頭保存会の皆さんは、町を代表して参加し壬生のかんぴょうをアピールしました。

生クラブは勢いに乗って、十一月三日清原球場で行われた決勝の日光クラブ戦においても、二回に計五点を奪う猛攻により5対2で勝ち優勝したものです。なお、最優秀選手には増山貞夫さんが、最優秀監督には田中作藏さんが選ばれました。

お達者 カップル



⑮上長田 渡辺利次さん
フサさん

開墾当時を なつかしむ

「結婚した頃はまだこのへんは山つづきで、開墾仕事がないへんだった。」と、利次さん（七十九歳）、奥さんのフサさん（七十六歳）がなつかしそうに話します。

「万能で木の根っこを起すんだが、一日やっても、早い人で一畝（二アール）くらいしかできない。」また、「戦争中、肥料が配給だった頃、開墾した畑に小麦を播いても、風がふくと土といっしょに飛ばされてしまい、それがつらかった。」と、当時を振り返ります。

結婚されて五十五年を迎え、



八人のお子さんと十四人のお孫さんに恵まれ、「九月にひこ孫も生まれた。」と顔をほころばせました。

今でもかんびょうの最盛期には、お二人とも、朝の三時には



町長にプレゼント

起きてかんびょうむきを手伝っており、「干すのは全部やってしまう。」そうです。

お二人の趣味は、利次さんが、十年余り続けているゲートボールで、週三回の練習を欠かさずやっており、最近の大会でも準優勝しました。

フサさんは、長い間「民舞」を愛好されており、年二回、ご夫婦そろって参加する老人クラブの旅行では、踊りを披露しています。

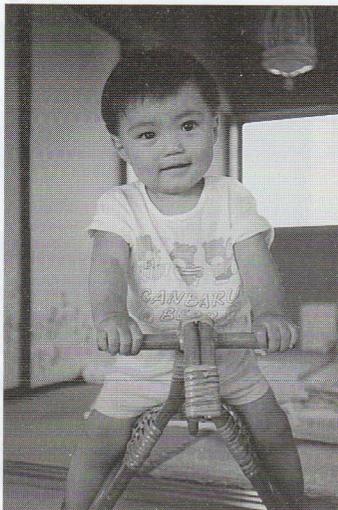
また、利次さんは、毎晩一合と決めている晩酌も楽しみのひとつで、気をつけていることは、「タバコも吸うし、特にない。早寝早起きくらいです。」と話してくれました。

睦作業所では、子供たちが実習農園で精魂こめて作ったおいしい里芋を町長に食べてもらおうと、十一月二十四日、町長室を訪れ里芋をプレゼントしました。

今年、訓練の一部にしようとして、十月に行われた健康福祉まつりではじゃがいもを販売、今回の里芋も老人会や役場の人達に販売しました。

チビっ子アルバム

たつり 甫坂樹則ちゃん(六美町南部第二)



昭和六十三年九月二日生まれ(二歳)

(父) 甫坂 秀樹
(母) " 光枝 さんの長男

お母さんからの一言

誰からも好かれる素直な子になってほしい。

こうすい 糸井孔帥ちゃん(国谷一)



昭和六十一年十二月十四日生まれ(三歳)

(父) 糸井 雅美
(母) " 玲子 さんの長男

お母さんからの一言

今の眼の輝きをいつまでも失わないでほしい

ぼくの夢は

政治家

安塚小学校六年

成見 唯一



ぼくは将来、政治家になって日本に住みよい国にしたいと思います。そしていつかは総理大臣になり外交に力を入れ被爆国の立場として核兵器をなくして世界を平和にしたいです。

それがもし実現したなら、国境や軍隊をなくし争いのない平和な世界にしたいと思います。また、宇宙開発をすすめて他の星にも住めるようにしたいと思います。

それは、人口が増え、かんきようがどんどんはかいされ続けているからです。

しかし、地球をみすてるわけではありません。

みんなで知恵を出しあい緑のゆたかなかんきようを守っていくことも忘れません。

ぼくのゆめ

わたしのゆめ

「ヘアー

ドレッサー」

安塚小学校六年

横倉美津子

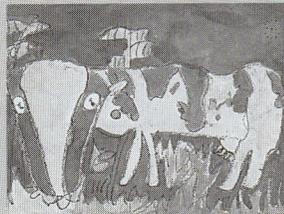


私は、幼稚園の頃から、かみの毛をいじることが、大好きで毎日のように、自分で整えています。今では、妹のかみの毛もポニーテール、あみこみ、みつあみなど、毎朝、いろいろ

形を変えてあげています。運動会や遠足など特別な行事の時はちよつと、手のこんだものを作るので、いつもより30分ぐらい早く起きます。どんなにむくても、かみの毛をいじっていると、不思議とねむけが、とんでいきます。だから将来は、ヘアードレッサーになりたいと思います。できれば、外国へ行って本格的に勉強して、みんなに喜ばれるような、ヘアードレッサーになりたいと思います。明日は、どんなかみ形にしようかな。

私の作品

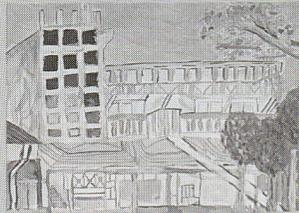
一 壬生東小学校一



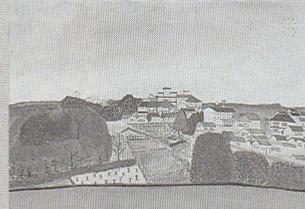
「うし」
1年 鈴木美紀



「神社」
3年 中川裕史



「建物のあるけしき」
4年 田原俊明



「広がりのある風景」
6年 平石 晃

文化祭入選作

短歌



文化協会
文芸部選

芋の葉を頭にのせて子ら二人

俄雨降る野を駆けてくる

曾篠登志子

神林 文恵

腹立ちは明日まで待てと言ひくれし

友も怒りを堪えゐるらし

蠅叩き持てば何処かへ逃げてゆき
ころ許せば目の前をとぶ

新井 ハナ

奥村 トシ

旅行への出欠届日せまりきて

決断つかぬわれにいらだつ

俳句

節太き指で栗むく母米寿

孫つれて心の余白埋める秋

秋口の厨すみずみまで磨く

藪蚊打つ手は芋とりの泥のまま

鈴木 文二

山名 多山

佐藤 淑子

海老沼勘一

町制施行百周年記念

農業祭盛大に開催

町制施行一〇〇周年を記念した農業祭が、十一月十八、十九日に壬生町農協本所で盛大に開催され、たくさんの人出で賑



「これを買おうか」農産物即売会にて 町長より賞状並びに記念品が贈られる

ました。

はじめに農産物品評会の表彰式が行われ、丹精して作られたかんぴょうや小豆、ごぼうなどが会場いっぱい並べられ、出来ばえが競われました。

その他、かんぴょう料理や豚汁などの試食会、バザーなどや土地改良写真展、ビデオコーナーも催されました。

広場では、もちつき大会やかんぴょう音頭が行われるとともに、消費拡大のため米やかんぴょうが無償配布されるなど、農業祭にふさわしいたくさん催しが行われました。

なお、農産物品評会の特別賞は次のとおりです。

★特別賞(敬称略)

○県知事賞

米(最優等) 荒川軍司(中泉)

○県農務部長賞

かんぴょう(最優等) 入江 久(中泉)

○県下都賀農政事務所長賞

小豆(最優等) 石塚勘一(壬生)

○県栃木農業改良普及所長賞

ごぼう(最優等) 小川誠(助谷)

○栃木食糧事務所栃木支所長賞

米(優等) 山野井芳治(北小林)

○県農業会議会長賞

里芋(最優等) 糸川敬一(上田)

○県米麦改良協会会長賞

米(優等) 小谷野幸雄(星の宮)

○県農協中央会長賞

白菜(最優等) 渡辺 渡(中泉)

○県経済農協連合会長賞

大和芋(最優等)

篠原富太郎(六美南二)

○栃木地方農業共済組合長賞

ホーレン草(最優等)

臼井賢一(中泉)

○町議会議長賞

大根(最優等) 早乙女弘(安塚)

○町農業委員長賞

ねぎ(最優等)

赤羽根昌雄(西部)

○町農協組合長賞

椎茸(最優等) 荒川清一(中泉)

訂正

前月号の十四ページ、お達者カプルの自治会名、壬生下馬木は稲葉下馬木の誤りです。また十五ページ、ぼくの夢わたしの夢の小川の姓は山川の誤りです。お詫びして訂正します。

栃木地区公衆衛生大会

保健衛生功労者表彰

十一月八日、藤岡町総合文化センターにおいて、第二十四回栃木地区公衆衛生大会が行われ町内から十六名の方が、保健衛生功労者として、大会長賞、保健所長賞を、それぞれ受賞されました。

受賞者は次のとおりです。(敬称略)

◇医師 安樂之孝

佐藤恵子

横山幸子

◇看護婦 坂本知志

◇診療放射線技師 大橋 文

◇母子保健推進員 亀田愛子

ご寄付

ありがとうございます

ごさいます

社会福祉協議会寄付者

○金一〇、〇〇〇円 稲葉カツ様

○金五、〇〇〇円

壬生町心身障害児者父母の会様

○金八、〇〇〇円

壬生町生活改善クラブ協議会様

○金二八七、〇〇〇円

おもちゃ団地協同組合様

一月の納税

・町県民税(四期)
・国民年金(十期)
納期限一月三十一日
納期限間際には納付窓口が大変混み合います。お早めに納付くださるようお願いいたします。

稲葉サキ

丸山サキ

高田千代

中里イシ

小平雅昭

柳田 清

小平ヨネ

◇美容業 小平ヨネ

ふじた鮮魚店(旬一心亭)

中国料理永幸

まちのうごき

12月1日現在

総人口	39,552人	(+65)
男	19,564人	(+39)
女	19,988人	(+26)
世帯数	11,296世帯	(+21)
() 内は前月比		